

生活支援コーディネーターだより

きずな

今回のテーマ

「地域のつながり」を大切にしたい集いの場



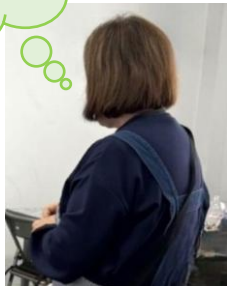
今回のテーマについて

集いの場を運営していく中で、大切にすべきポイントは様々あるのですが、その一つに「地域とのつながり」があると思います。

今回のきずなでは、団体や人とのつながりを活かしながら、地域で集いの場を行っている方にインタビューしてきました。これから集いの場を始めてみようと思う方にとっても参考になるのではないのでしょうか。

※集いの場…気軽に行けて、お茶等を飲んでお喋りしたり、趣味活動や体操等を行ったりする場所

正面は恥ずかしいといふことなので、後ろ姿のお写真です



今回インタビューしたのは、「ふれあい広場なごみ」代表の杉本 由紀子さんです!

萩之庄ビレッジハウスの集会所で集いの場を行っている杉本さん。ビレッジハウスに杉本さんのご家族が住んでいる中で、住民の入れ替わりが多いことや、子ども会・老人会・自治会等もなくなったりと、住民同士のつながりが希薄になっていることが気になっていたそうです。そこで、地域の方のつながりの機会となればと約2年前から集いの場を始められました!

ふれあい広場なごみ

- *萩之庄ビレッジハウスにて、月4回(原則第1・3土曜、第2・4水曜)実施
- *参加費は飲み物代150円
- *申込不要で誰でも参加可能
- *お茶を飲んでゆっくりしたり、おしゃべり、オセロを楽しんだり、自由に過ごせます。月1回は催し有。季節に応じた催しも行ったりしています。

(※令和8年3月現在)



Instagramはこちら↓



@NAGOMI.F.5.20



杉本さんにインタビューした内容は、裏面でご紹介します。

裏面

杉本さんにインタビューを行いました



どんな団体・人とのつながりがありますか？

高槻市ボランティア・市民活動センター（以下「ボランティアセンター」）、生活支援コーディネーター、地域包括支援センター（以下「包括」）、民生委員、地域でサロンを行っている方達、スタッフ、友人などです。



その団体・人とはどうやって知り合いましたか？

サロンの周知をしたり、気になっていることを相談しているうちに、自然と輪が広がっていきました。新たにつながった所が他の所を紹介してくれたり、友人の友人もサロンを手伝ってくれるようになって嬉しいです。



団体・人とのつながりが役立ったことや参考になったことはありますか？

たくさんあります！例えば、毎月行う催しについてボランティアセンターから団体を紹介してもらっています。生活支援コーディネーターには助成金の紹介をはじめ、環境面の相談、他の集いの場の紹介など、活動の相談にのってもらっています。（下に続く）

包括の方が来られた時は参加者の健康相談にのってもらったり、講座も行ってもらいました。他のサロンへの見学では、また参加したいと思ってもらえるための取り組みとして、スタンプカードを作成したり、スタッフが参加者を気遣って声かけしている様子を見れて、参考になりました。自身の活動でも取り入れています。友人・知人はサロンの周知や当日のスタッフとして協力してくれています。



サロンを続ける秘訣は何ですか？

自分一人で行っていたらここまで続けられていないのではと思います。スタッフのみんながいるのが大きいです。参加者の方が喜んでくれるのはもちろんですが、スタッフが喜んでくれるのが嬉しいし、皆で作り上げているのが楽しいです！



インタビューを行って…

様々な団体や人と関わりながら活動していることや、一緒に活動してくれるスタッフがいることで楽しみながら活動できていることが印象的でした。団体や人と関わりを持ちながら活動することで、活動の幅が広がり、安心して活動できることにつながるのではないかと思います。

生活支援コーディネーターは「集いの場を始めたい」という方のご相談にのったり、お手伝いを行っています。ご興味がある方は、お気軽に下記までご相談ください。

社会福祉法人 高槻市社会福祉協議会 地域共生推進課

生活支援コーディネーター

☎072-676-9052 ・ FAX 072-661-9113

